

# 27年度 市政の運営方針

平成27年度予算編成では、引き続き財政の健全化に努め、事務事業の効果を見極めた上で、市の最上位計画「つくばみらい市新基本計画」の大きな政策目標「“みらい”を担う子どもたちに誇れるまちに向けて」の実現のため、引き続き、事業の必要性、緊急性、重要性を見極めながら、真に市民のためになる事業の選択を行い、子どもたちに誇れるまちづくりを推進していく予算編成に努めました。

## 子育て支援の充実

### 病後児保育事業を拡大

病気の回復期で、まだ保育所での集団保育などが難しい児童を、保育所に付設する専用の保育室で預かることで、保護者の子育てと就労を支援します。平成27年度からは1園追加し、2園の民間保育施設で実施します。

### 保育施設の運営を委託する事業の拡充

民間保育施設の誘致を行い、

## 新基本計画の推進

平成27年度も引き続き4つの重点施策に基づき計画を進めていきます。

### 「行きたくなる、住みたくなるまちをつくろう」

福岡地区工業用地整備事業を引き続き進めていきます。平成27年度は、現地の測量、都市計画変更に伴う図書作成などを実施します。

また、近年激しさを増す都市間競争を勝ち抜くため、シティプロモーション事業を充実・強化し、市の魅力を市内外に向け、効果的に発信していきます。

「子どもから高齢者まで希望の持てる、みんなを大切にしたいまちをつくろう」

みらい平地区の児童生徒の増加に伴う陽光台小学校の教室不足に対応するため、整備目標を平成30年4月1日として、新たに（仮称）富士見ヶ丘小学校を建設し、良好な教育環境の整備を図るものです。平成27年度は、基本・実施設計などを行います。

## 地方創生などへの取り組み

現在、国や地方自治体において、「まち・ひと・しごと創生」、いわゆる「地方創生」の取り組みが検討されています。

この「まち・ひと・しごと創生」については、国と地方とが一体となつて、中長期的視点に立つて取り組む必要があります。

そのため、本市においても「つくばみらい市まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、国の長期ビジョンおよび国の総合戦略を勘案しつつ、2060年までの長期を見据えた「地方人口ビジョン」、および今後5カ年の目標や施策の基本方向、具体的な施策をまとめた「つくばみらい市版総合戦略」を策定します。

そして、市の発展のため、また、すべての市民の皆さんが、日々の生活を明るく豊かに送る

また、高齢者通院通所交通費助成事業を、これまでの路線バス運賃助成から、タクシー運賃に係る初乗り料金の助成に改正し、実施します。

### 「ハード・ソフト両方が安心な持続可能なまちをつくろう」

庁舎改築等整備事業については、平成26年度の植栽撤去工事に引き続き、庁舎本体の改築工事などを行います。

ことができるような、地方創生に取り組んでいきます。

また、平成28年3月に、本市は市制施行10周年を迎えることから、市のさらなる発展と一体感の醸成を図るため、平成28年1月から12月までを「市制記念イヤー」と位置付け、記念事業を実施します。キャッチフレーズ、ロゴマーク、市のイメージキャラクターを公募により作成し、平成28年3月27日には、記念式典を実施します。

そして、今回初めての事業として、戦没者追悼式事業を実施します。これは、戦後70年を節目とし、つくばみらい市に関係する戦没者に対し、追悼の意を表すとともに、恒久平和を祈念し、市政発展への決意を新たにするため、追悼式を開催するものです。